

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	都市計画道路の整備	施策No	12-02	部課名	防災都市づくり部基盤整備課
関連部課名	防災都市づくり部都市計画課				
行政評価	分野	VI	安全安心都市		
事業体系	政策	12	利便性の高い都市基盤の整備		

目的	街の骨格を形成し、安全で円滑な交通空間を確保するために都市計画道路を整備する。また、街路整備と併せて無電柱化を推進することで、景観の向上や快適な歩行空間を確保するとともに、災害時の避難路や延焼遮断帯としての機能を強化し、地域の防災性の向上等を図る。				
----	--	--	--	--	--

幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
	5年度	6年度	7年度			
① まちなみの良さ	3.04	3.06	3.10	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？		
② 防災性	2.35	2.26	2.31	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
③ 安全・安心の実感	2.75	2.70	2.74	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？		
④						
施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
	5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値（8年度）	
① 都市計画道路の整備率（％）	58.1	58.1	58.1	58.1	69.3	完成5,160m/計画8,886m
②						
③						
④						
⑤						

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	行政費用	給与関係費	42,191	47,050	4,859	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	3,158	3,256	98		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		都支出金	49,522	88,319	38,797
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	49,522	88,319	38,797
		賞与・退職給与引当金繰入額	2,787	9,041	6,254		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 209,731	▲ 260,881	▲ 51,150
	その他行政費用		211,117	289,853	78,736	金融収支差額(d)		0	0	0
行政費用合計(b)		259,253	349,200	89,947	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 209,731	▲ 260,881	▲ 51,150	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 209,731	▲ 260,881	▲ 51,150	
貸借対照表	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		2,634	2,773	139
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	5,973,083	6,993,857	1,020,774		賞与引当金	2,634	2,773	139
		土地	5,973,083	6,993,857	1,020,774		その他の流動負債	0	0	0
		建物	0	0	0	固定負債		19,067	24,268	5,201
		建物減価償却累計額	0	0	0		特別区債	0	0	0
		工作物等	0	0	0		退職給与引当金	19,067	24,268	5,201
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	21,701	27,041	5,340	
		建設仮勘定	614,550	931,646	317,096	正味財産	6,565,932	7,898,462	1,332,530	
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	6,565,932	7,898,462	1,332,530	
	資産の部合計		6,587,633	7,925,503	1,337,870	負債及び正味財産の部合計		6,587,633	7,925,503	1,337,870

財務諸表に関する特徴的事項等

- 令和7年度の「物件費」については、補助第331号線整備工事の実施に伴う代替通路の土地使用に要した費用及び土地鑑定評価委託等に係る経費である。
- 令和7年度の「その他行政費用」については、補助第193号線に関する用地取得支援業務委託のほか、境界確定のための現況測量や復元測量、建物等調査委託等に係る経費等である。
- 行政収入の「都支出金」については、都市計画交付金である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○都市計画道路については、平成19年度に補助第306号線、平成22年度に補助第107号線の整備完了以降、整備率58.1%に変動はない状況である。 ○現在事業中の路線は、補助第193号線（第一期区間、第二期区間）、補助第331号線、補助第321号線の3路線である。
課題	○都市計画道路の整備に当たっては、事業用地の取得が不可欠であるが、複雑な権利関係による用地交渉の難航や土壌汚染対策の解決に向けた調整などに時間を要している。 ○補助第193号線において、戸数が多い集合住宅が複数あり、これら区分所有の敷地を道路用地として買収する場合、全戸分一括契約をする必要があることから、用地折衝に時間がかかっている。 ○補助第321号線については、土地所有者が管理する研究施設や倉庫など建物の配置、土壌汚染対策等、事業再建に関する課題整理のため、時間を要している。 ○補助第331号線については、交差する鉄道構造物との離隔が非常に小さいため、影響が出ないよう工事を実施する必要がある。また、無電柱化を行うために、鉄道事業者、占用企業者との調整が必要になる。 ○東京都第五次事業化計画において、優先整備路線として位置付けられた路線について、早期に事業へ着手する必要がある。
今後の方向性	○都市計画道路は、交通、景観、防災など、さまざまな分野において欠かすことのできない重要な都市施設であることから、早期完成を目指し取り組んでいく。 ○補助第193号線第一期区間については、引き続き権利者との用地交渉等を積極的に進めていく。また、第二期区間については、建物調査が整った土地等について用地取得に着手する。 ○補助第321号線については、土地所有者による土壌汚染対策、再建が速やかに行えるよう、可能な限り資料提示等により継続して支援を行っていく。 ○補助第331号線については、安全かつ効率的な整備手法の検討を行う。また、無電柱化の整備工事を円滑に進められるよう、引き続き、占用企業者などの関係者と綿密な調整を行い、施工手順や整備後の通行動線等について早期から周知を行っていく。 ○東京都第五次事業化計画において、優先整備路線として位置付けられた路線について、事業中の路線の進捗を踏まえ、順次事業着手を検討する。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備は、街の防災性向上や安全な交通空間確保等の観点から、優先順位を定めて計画的に推進していく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
都市計画道路用地取得事務	11-02-17	189,032	278,043	172,011	252,481	重点的に推進	重点的に推進	街の骨格を形成し、防災性の向上等に寄与する都市計画道路の整備のため、用地取得は最も基礎的で重要な要素であるため、重点的に推進する。
都市計画道路補助193号線整備事業	11-04-02	34,547	34,811	384,104	1,047,916	重点的に推進	重点的に推進	本路線の整備は、地域危険度の高い町屋・尾久地区に導入した不燃化特区制度のコア事業であるため、重点的に推進する。
都市計画道路補助321号線整備事業	11-04-11	18,925	18,425	17,356	10,245	推進	推進	街の骨格をつくり、地域の防災性向上に寄与する事業であるため、推進する。
都市計画道路補助331号線整備事業	11-04-12	16,755	17,920	355,838	320,336	重点的に推進	重点的に推進	J R等の鉄道で分断された南千住地域を東西に結ぶ本路線は、平時の安全で円滑な交通の確保だけでなく、広域避難場所「都立汐入公園一帯」への避難路としての機能も担うため、整備を重点的に推進する。
合 計		259,259	349,199	929,309	1,630,978			